

ネイティブT4感染大腸菌ポリヌクレオチドキナーゼ

Cat. No. NATE-0605

Lot. No. (See product label)

はじめに

概要 ポリヌクレオチドキナーゼは、ATPの γ -リン酸を単鎖および二本鎖の核酸（DNAおよびRNA）と3'-ヌクレオシドリン酸の5'-ヒドロキシル末端に転送する「前方反応」を触媒します。ADPを含む交換反応では、酵素は5'-末端リン酸基とATPの交換を触媒します。3'-ホスファターゼ活性により、酵素はリン酸化ポリヌクレオチドから3'-リン酸基を除去することができます。

用途 適している用途: • 5'末端ラベリングによる配列決定または核酸タグ付け（DNAおよびRNA）
• オリゴヌクレオチドの5'リン酸化 • リン酸化ポリヌクレオチドからの3'-リン酸基の除去

別名 ポリヌクレオチド 5'-ヒドロキシルキナーゼ; EC 2.7.1.78; 37211-65-7; ATP:5'-デフォスフォポリヌクレオチド 5'-ホスファターゼ; PNK; ポリヌクレオチド 5'-ヒドロキシルキナーゼ (リン酸化); 5'-ヒドロキシルポリヌクレオチドキナーゼ; 5'-ヒドロキシルポリリボヌクレオチドキナーゼ; 5'-ヒドロキシルRNAキナーゼ; DNA 5'-ヒドロキシルキナーゼ; DNAキナーゼ; ポリヌクレオチドキナーゼ; ポリヌクレオチド 5'-ヒドロキシキナーゼ

製品情報

由来 T4感染大腸菌

形態 緩衝された水性グリセロール溶液

EC番号 EC 2.7.1.78

CAS登録番号 37211-65-7

分子量 mol wt 33 kDa

活性 10単位/ μ L

濃度 10単位/ μ L

単位定義 1ユニットは、37°Cで30分間、マイクロコッカスヌクレアーゼ処理されたDNAの5'末端に1ナノモルの32Pを転送する触媒作用を持ちます。転送は、酸不溶性物質への取り込みとして検出されます。

保管・発送情報

保存方法 -20°C